

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------------|-----------|-------------|
| ○事業所名 | Smile please MIZUHO | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年 2月 6日 | | 令和8年 2月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 21 (回答者数) | 20 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年 2月 16日 | | 令和8年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 19 (回答者数) | 19 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 3月 23日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 多職種での連携 | ・医療的ケアに関しては小児経験のある看護師が何名か籍している。 お子様の観察をしっかりと行い何かあってもすぐに対応し、連携が取れている。 ・機能訓練士は、PT・OT・STがおり、お子様の状態を見させてもらい、一人ひとりに必要な機能訓練を行っている。 | ・看護師の指導のもと、医療的ケアに関する知識・実践の研修を行っている。 ・保護者の方ともお話を聞き、当事業所でどのように行っていくのか聞き取りも行っており、職員全体に共有を図る。 |
| 2 | 避難訓練や不審者対策の実施 | 毎月1回、地震・火災・水害・不審者をローテーションで実施している。全職員が一人ずつ担当し、いろんな角度から非常時の想定や対応まで考え、ミーティング、訓練実施、反省を行っている。 | 毎月1回行っているのだが、避難訓練の日に利用がないとなかなか保護者の方に周知されずらいのですが、SNSでの発信を行い周知してもらえようようにしていく。 |
| 3 | 活動プログラムの充実 | 保育士が主となり、活動プログラムが固定化されないよう活動内容を考えている。 | デジタルリハビリを使用し、楽しくリハビリを行うという事も取り組んでいる |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|----------------------------|---------------------------|
| 1 | 医療的ケアが多く、療育の時間がゆっくりとれないこともある (学校や自宅も遠く送迎に時間がかかってしまう) | 医療的ケアは、そのお子さんにとって必要なことである。 | 可能な限り、療育やリハビリの時間を設けて支援を行う |
| 2 | | | |
| 3 | | | |